

ふるさと わがまち わが地域

和やかな笑顔いっぱいの小田区



弥栄町小田区

地縁団体

名称：小田区（こだく）

認可日：平成16年1月20日

事務所（公民館）

京丹後市弥栄町小田388番地1

★地区概要

京丹館後市の北西部、弥栄町と丹後町の境に位置。

国道482号沿いに日本海へ注ぐ竹野川の小さな支流の居村川が集落の真ん中を流れる谷あいに、20世帯約70人が暮らしています。

竹野川と国道沿いに1反区画の水田が整然と並び、約10畝の農地に11世帯の農家が競って畦の草刈りなど美田管理をしながらおいしい丹後コシヒカリ米の栽培をしています。

集落の名称のごとく小さい田んぼは、昭和35年それまで養蚕中心の農業の大転換を区民の総意で決断し、2カ年で古いも若きもスコップと箱車で桑畑から水田の区画整理と用排水路・農道を整備して現在に至っています。そのせいか小田区では『百人を超えると食えない』と言い伝えもあるほど。

平成10年全国高校総体の会場に飾る花づくりを「がんばる農山村づくり事業」の中で取組んだのが契機に、区の中を流れる川に花橋が架かって季節の花が満開。区民はもとより立ち寄る人が和やかな笑顔になる場所と評判です。



美田と小田遠景(初夏)

<文責:24.2 和やかコダック編集員>

★地域づくり

小さい集落ながら出来ることを区民総出でする風潮は、昭和時代の農地区画整理事業の時、古いも若きもの取組の神髓が受け継がれています。

春先の草焼きや溝の泥上げ作業、お盆前のお寺の掃除、秋祭り前の幟たてや神社の清掃作業そして秋祭りの祭礼、年末のお寺と公民館の掃除。年中無休で周り当番の「やばん：拍子木を叩き防火見回り」など。

近年の新しい取組にも区民総参加の意識は強く、初夏の竹野川河川敷の草刈り作業は区の唯一の収益事業と全戸主が一日中草刈り機を振り、作業後には慰労の宴で疲れを癒す。近年では、大雨災害の農道・水路の復旧作業、神社参道の敷石作業に区民の創意と工夫が見事に実をつけています。

「和やかコダック区」運動は、小さな区でも“コダックス”ソフトボールチームの活動、町内駅伝大会に4区連合ではなく独立参加の経緯から「花も実も樹もあるコダック区」運動としてスタートしました。居村川の竹で花橋を架けるアイデアも区民総出の作業後の宴の最中にぽっと出たことが契機。14年が経過し今では小田には無くてはならない花橋に初夏と晩秋の花の植え替え作業は恒例のボランティア作業となっています。

若い世代も4年前に「小田藩」が誕生し、春の桜の花見会とお盆の納涼祭、秋祭りの太鼓練習と「区民総出の催し開催」へと神髓が継承されています。



秋祭りお堂前



秋祭り幟たて



河川敷草刈作業



災害復旧作業



自慢の花橋



自主防災会
訓練



新緑と花橋



祭太鼓の披露
小田藩



花の植え替え作業



居村川の花橋



神社参道敷石作業